

中国語可能表現の教学指導に関する一考察 — 英語圏教科書との比較を中心に —

Examination of the Chinese Teaching Guide of Potential Expressions
— Comparison with English-Language Textbooks —

安本 真弓

YASUMOTO Mayumi

要 旨

本論文は、第二言語教育としての中国語教育で、習得が難しいとされている中国語可能表現の教学指導について、教科書の記述事項（文法ポイントとしての解説及び例文の提示を中心とする）の角度からアプローチして考察を行う。日本で刊行された4冊の教科書の関連内容と、英語圏の中国語教科書（アメリカでは収集した67冊から2冊、ニュージーランドでは収集した4冊から2冊）の関連内容を比較して考察した結果、文法ポイントの解説内容や例文の提示方法など多方面からの違いが見られた。合わせて、日本の中国語教科書作成に应用可能な点も明らかになったため、第二言語教育の基本目標に沿って学習者が習得しやすい教科書を作成し、それをもって指導を行うことで、日本における中国語教育の質向上に一定の効果が見込まれると考える。

1 はじめに

第二言語習得としての中国語教育では、文法項目である中国語可能表現の習得は難しいと言われていた（楊庆惠主編 1996、叶盼云・吴中伟编著 1999、郭晓麟编著 2010 等）。中国語可能表現は、カタチから大きく2つに分類することができ、一つは動詞の前に可能を表す助動詞を置く表現形式（「助動詞可能形式」）で、もう一つは動詞の後には“得/不”に続き、結果や方向などを表す単語と先にフレーズを構成して可能を表す表現形式（「補語可能形式」、可能補語ともいう）である。現在日本で刊行されている中国語教科書の記述事項に基づいて教育現場において中国語学習者に指導した結果、可能表現の誤用例が後を絶たない。筆者が2017年度と2018年度に科研費を用いて行った調査によれば、大学で中国語を教える教員向けの中国語可能表現教室指導状況に関するアンケート調査（以下「指導状況調査」と略す）では、合計24大学の中国語教員32名が回答していただいた。多くの教員は現行中国語教科書の記述内容に不足を感じており、自身の備わっている知識に基づき何らかの語句や、例文、シチュエーション等を補充して指導しているが、学生に的確にわかってもらえる説明や指導法

を持ち合わせていないようだと言った。また、「指導状況調査」に協力していただいた教員に、ご自身が指導するクラスの学生に対して中国語可能表現習得状況に関する測定テスト（以下「習得状況調査」と略す）の実施も依頼し、2年間にわたる「習得状況調査」では合計 24 大学の学生 1942 名が測定テストを受けた。その測定テストのデータを考察した結果、中国語可能表現の「助動詞可能形式」において、助動詞の“能”と“会”のどちらを使うのかの区別がつかず、解答を間違ってしまう学生は多く、また「補語可能形式」においては「助動詞可能形式」との区別がつかず、間違っただけで解答する学生も多く、さらに「補語可能形式」を選択肢として選ぶ問題の正答率は一番低いことが明らかになった。「指導状況調査」と「習得状況調査」の調査結果から、中国語可能表現の指導法では相当な問題点があることを言わざるを得ない。また先行研究（李大忠著 1996 や郭春貴著 2001 等）でも学習者による誤用例がたびたび指摘されており、中国語可能表現は容易に習得することができる文法項目ではないと言える。

以上を踏まえ、これまで筆者と共同研究者らは日本の教科書における中国語可能表現のさまざまな記述事項を抽出して考察し、その問題点や解決のヒント等を明らかにしてきた（吉田泰謙・安本真弓 2018、安本真弓 2019-1、安本真弓・吉田泰謙 2019-2、安本真弓・吉田泰謙 2020-1、安本真弓・吉田泰謙 2020-2、安本真弓・吉田泰謙 2022）。本論文は⁽¹⁾ アメリカとニュージーランドで使用される中国語教科書における中国語可能表現（文法ポイントの解説及び例文を中心とする）の記述事項を抽出したうえで、日本の場合と比較して考察し、その相違点や、今後の日本における中国語教科書に取り入れ可能な点等を明らかにしたい。

2 日本教科書の記述

日本で刊行されている中国語教科書は数多く存在するが、中国語可能表現に関する記述はおおむね同じである。今回は跡見学園女子大学の中国語科目で使用されている教科書（1年生用 2 冊、2年生用 2 冊で合計 4 冊）を取り上げ、その記述部分を見ていくことにする。

2.1 1 年生用教科書について

1 年生用の 2 冊は、『ともだち・朋友／スリム版 1』（『ともだち 1』と略す）と『初級中国語／会話編』（『初級』と略す）である。

I 『ともだち 1』 P53：助動詞“能”

我能去。（私は行けます。）⁽²⁾

我不能去。（私は行けません。）

別冊の教授用資料では、「“能”は「～できる」という意味です。」と記載されている。

II 『ともだち 1』 P57：助動詞“会”

我会唱歌儿。（私は歌が歌える。）

我不会唱歌儿。（私は歌が歌えない。）

別冊の教授用資料では、「“会”は「(後天的に習得した技能が) できる」、補足に「時折「うまく～できる」というニュアンスを帯びることもあります。」と記載されている。

『ともだち 1』では、“能”の後に“会”を取り上げているが、“能”と“会”の区別は明確にせず、“会”は「(後天的に習得した技能が) できる」とするだけである。

III 『初級』 P44：助動詞—習得の“会” 可能の“能” 許可の“可以”

我会游泳。（わたしは泳ぐことができます。）

我能游 500 米。（わたしは 500 メートル泳ぐことができます。）

我今天可以去游泳吗？（わたしはきょう泳ぎに行くことができますか（泳ぎに行っても良いですか。））

別冊の教授用資料では、「本テキストでは、“会”は学習や練習による習得を表す意味のみ、“能”はどれだけできるかというレベルの表現のみを提示しています。」と記載されている。

IV 『初級』 P48：可能補語 動詞+“得・不”+結果補語／方向補語

我今天看得完这本小说。（わたしはきょうこの小説を読み終えることができます。）

我听不懂英语。（わたしは英語を聞いて理解することができません。）

他今天回不来。（彼はきょう帰ってくるできません。）

別冊の教授用資料では、「*必要に応じて第 11 課の結果補語も振り返ってください。」と記載されている。

『初級』 P44 では、「習得の“会” 可能の“能” 許可の“可以”」と 3 つ可能を表す助動詞を区別しているようだが、教授用資料では、「“能”はどれだけできるかというレベルの表現のみを提示しています。」との記述からもわかるように、実際の運用上では、特に“会”と“能”はそう簡単に割り切れるものではない。

また、『初級』 P48 では「補語可能形式」としての可能補語も取り上げているが、構成成分と例文提示のみで、詳しい解説は一切ない。

2.2 2年生用教科書について

2年生用の2冊は、『話す中国語 初級～中級篇』（『話す』と略す）と『中国語会話のコツ』（『コツ』と略す）である。1年生で学習した文法を復習しつつ更なる中国語の上達を目指す内容である。

I 『話す』P3：助動詞“能”

我下午能去兜风。（私は午後にはドライブしに行けます。）

我上午不能去兜风。（私は午前にはドライブしに行けません。）

別冊の教授用資料では、「助動詞“能”は動詞句の前に置いて「～することができる」という可能の意味を表します。否定形は“不能”となります。」と記載している。

II 『話す』P7：助動詞“会”

我会开车。（私は車を運転することができる。）

cf. 我会中文。（私は中国語ができる。）

我母亲不会开车。（私の母は車の運転ができません。）

別冊の教授用資料では、「助動詞“会”は動詞句の前について後天的に習得した技能が「できる」という意味を表します。否定形は“不会”です。」と記載している。

III 『話す』P15：助動詞“可以”

这儿可以抽烟。（ここではタバコを吸ってもよい。）

这儿不能抽烟。（ここではタバコが吸えない。）

cf. 这儿不可以抽烟。（ここではタバコを吸ってはいけません。）

別冊の教授用資料では、「助動詞“可以”はその場の状況が許すので「できる」、「さしつかえない」という可能の意味を表します。否定形は“不可以”ではなく“不能”となります。もし“不可以”と言うと、不可能ではなく禁止を表す言い方になります。」と記載している。

IV 『話す』 P55：可能補語

$$V + \left\{ \begin{array}{l} \text{“得”} \\ \text{“不”} \end{array} \right\} + \left\{ \begin{array}{l} \text{結果補語} \\ \text{方向補語} \end{array} \right\} + O$$

看得到湖（湖が見える）

看不到湖（湖が見えない）

猜得出来（当てられない）

用不着（そうするには及ばない）

cf. 这个谜语我猜不出来。（このなぞなぞは私は当てられません）

別冊の教授用資料では、「動詞と結果補語または方向補語の間に“得”または“不”を入れると可能／不可能を表す「可能補語」になります。」と記載している。

『話す』では、1年生用教科書の『ともだち1』『初級』と同様、“会”と“能”の違いは“会”が後天的に習得した技能が「～できる」意味である。また、“可以”における「その場の状況が許すので「できる」という解説は、『初級』の「許可」とは、言い方を変えただけである。

可能補語については、構成成分や例文提示のほか、「可能／不可能」を表すと別冊の教授用資料で記しただけで、「助動詞可能形式」との区別については一切触れていない。

V 『コッ』 P44：可能補語

电车里接不了电话。（電車の中では電話に出ることができない。）

谁能买得到明天的京剧票？（誰が明日の京劇のチケットを買えますか。）

VI 『コッ』 P52：助動詞“可以”

在东京迪士尼乐园可以看烟花。（東京ディズニーランドでは花火が見られる。）

我们可以坐新干线去京都看红叶。（新幹線に乗って京都へ行き紅葉を見るのも良い。）

『コッ』では、「可能補語」と「助動詞“可以”」を取り上げたが、例文のみの提示で、解説は教授用資料を含めて一切ないため、教員任せにしたように見える。

3 アメリカ教科書記述の概略

アメリカから教科書（教授用資料、問題集を含む）を合計67冊収集した。その中から可能表現の取扱いがあり、かつテキスト構成や指導内容等の比較がしやすい2冊、『NEW PRACTICAL

CHINESE READER 新实用汉语课本』（『NPCR』と略す）、『Contemporary Chinese 当代中文』（『CC』と略す）を選び、「助動詞可能形式」と「補語可能形式」の記述を考察する。

3.1 教科書『NPCR』について

- I 『NPCR』P194: The word “可以” often expresses objective conditions that permit or forbid someone to do something. The negative form is “bù néng 不能” (cannot) or “bù kěyǐ 不可以” (cannot).⁽³⁾
 (英文和訳：単語“可以”は通常、あるの状況の下、あるヒトがあるコトをするのを許可または禁止するという意味を表す。否定形は“bù néng 不能”(できない) or “bù kěyǐ 不可以”(できない)である。)

表① “可以”に関する例文の提示

Subject	Predicate		
	Optative Verb	Verb	Object
您	可以	给我介绍一下吗？	
我	可以不可以	试一下	这件衣服？
现在	不能 / 不可以	过	马路。

表①中文和訳：(あなたは) ちょっと私に紹介してもよろしいですか。

(私は) ちょっとこの服を試着しても良いですか。

現在、道を横断してはだめです／してはいけません。

- II 『NPCR』P222: The optative word “能” often expresses the meaning of “can; to be able to”. The negative form is “bù néng 不能” (cannot; to be unable to).

(英文和訳：助動詞“能”は通常、「できる、～する可能性がある」という意味を表す。否定形は“bù néng 不能”(できない;～する可能性がない)である。)

表② “能”に関する例文の提示

Subject	Predicate		
	Adverbial	Optative Verb	Verb-Object
大为	明天	能	上课吗？
我	晚上	不能	来学校。
小云	星期六	能	参加聚会吗？

表②中文和訳：大为は明日授業に出ることができますか。

(私は) 夜学校に来ることができません。

小雲は土曜日に集いに参加することができますか。

Ⅲ 『NPCR』 P246: The optative word “会” is often used before a verb to express ability, and this kind of ability can be learned through study or practice. For example, “hui kāichē 会开车” (can drive), “hui yóngyǒng 会游泳” (can swim), “huishuō hànyǔ 会说汉语” (can speak Chinese).

(英文和訳：助動詞“会”は通常、動詞の前に置き、学習または練習を通じて習得しうる種類の能力を表す。たとえば、“hui kāichē 会开车”（車を運転できる），“hui yóngyǒng 会游泳”（泳げる），“huishuō hànyǔ 会说汉语”（中国語が話せる。）)

表③ “会”に関する例文の提示

Subject	Predicate	
	Optative Verb	Verb-Object
你	会不会	说汉语?
宋华	不会	开车。
丁力波	会	写这个汉字。
谁	会	滑雪?

表③中文和訳：（あなたは）中国語を話せますか。

宋華が車を運転できません。

丁力波がこの漢字を書けます。

誰がスキーできますか。

3.2 教科書『CC』について

『CC』 P135: V. + 得 / 不 + Potential Complement

The inner elements of the V.-Comple. pattern, when it consists of the verb and the resultative complement, or the verb and the directional complement, are inseparable. But 得/不 can be inserted in most of these to indicate potentiality. “V.得Comple.” means “can” and “V.不Comple.” means “cannot.”

(英文和訳：V-補語の内部成分のパターンは、動詞と結果補語または動詞と方向補語で構成されており、切り離すことができない。ただ得/不をはさむことで可能を示し、“V.得補.”は「できる」を、“V.不補.”は「できない」を意味する。)

E.g. (1) 他说的话我都听得懂，你说的话我都听不懂。

(中文和訳：彼の言ったことは私がすべて聞いて理解できますが、あなたの言ったことは私がすべて聞いて理解できません。)

(2) 字写得太小，我们看不清楚。

(中文和訳：書かれた文字が小さ過ぎて、(私たちは) ははっきり見えません。)

(3) 门太小了, 汽车开不进去。

(中文和訳: 門が小さ過ぎて、車は入っていくことができません。)

The interrogative pattern is "... 吗," or "V. 得 Comple. V. 不 Comple." For example:

(英文和訳: 疑問のパターンは "... 吗," または "V. 得補 . V. 不補 ." である。たとえば:)

(1) 京剧票买得到吗?

(中文和訳: 京劇のチケットは買うことができましたか。)

(2) 这本书一年学得完学不完?

(中文和訳: この本は一年で学び終えることができますか。)

When indicating permission or agreement, 能 or 可以 should be used instead of the "V. 得 / 不 Comple." pattern.

(英文和訳: 許可または同意を表す場合、この "V. 得 / 不補 ." パターン以外の能または可以を使用すべきである。)

E.g. 对不起, 你没买票, 不能进去。

(和訳: すみませんが、あなたはチケットを買っていないので、入ることができません。)

4 ニュージーランドの教科書

ニュージーランドから収集できた教科書は『INTEGRATED CHINESE 中文听说读写・中文聽說讀寫 1~4』の計4冊である。1冊目(『IC1』と略す)には「助動詞可能形式」、2冊目(『IC2』と略す)には「補語可能形式」の記述があった。詳細は下記の通りである。

4.1 教科書『IC1』について

『IC1』P224: Both 能 (néng) and 会 (huì) have several meanings. The basic meaning of 能 (néng) is "to be capable of (doing something)," as in (A). It can also indicate the viability of an action, as in (B) and (C). Additional meanings will be introduced in later lessons. 会 (huì) as used in (D), (E), and (F), means having acquired the skill to do something through learning.

(英文和訳: 能 (néng) と会 (huì) はいずれもいくつかの意味を持っている。能 (néng) の基本的意味は「あることをする能力を持つ」例 (A)、また動作実行の可能性も表す、例 (B) と (C)。その他の意味は後のレッスンに導入される。会 (huì) は例 (D)、(E) と (F) のように学習を通じてあることをするスキルを獲得しているという意味である)

A 我能喝十杯咖啡。

(中文和訳：(私は) コーヒーを十杯飲む。)

B 今天下午我要开会，不能去听音乐会。

(中文和訳：今日午後には、(私は) 会議があるので、コンサートを聞きに行くことができない。)

C 我们不能在图书馆聊天儿。

(中文和訳：(私たちは) 図書館でおしゃべりをしてはいけない。)

D 李友会说中文。

(中文和訳：李友さんは中国語を話すことができる。)

E 小白会唱很多美国歌。

(中文和訳：小白はたくさんアメリカソングを唄うことができる。)

E 我不会打球，请你教我。

(中文和訳：(私は) ボールが打てないので、(あなたが) 私に教えてください。)

4.2 教科書『IC2』について

『IC2』 P172 ~ P174 : Potential complements (1)

得 (de) or 不 (bu) is placed between a verb and a resultative or directional complement to indicate whether a certain result can be realized or not.

(英文和訳：得 (de) または不 (bu) は動詞と結果あるいは方向補語の間に置き、特定の結果を実現することができるか否かを表す)

[A] StudentA 你能学会跳舞吗？

(中文和訳：(あなたは) ダンスをマスターすることができますか。)

StudentB 跳舞太难，我学不会。

(中文和訳：ダンスがとても難しく、(私は) マスターすることができません。)

[B] StudentA 你晚上六点半能回来吗？我等你吃完饭。

(中文和訳：(あなたは) 夜6時半に戻ってこられますか。(私は) あなたを待って晩ご飯を食べます。)

StudentB 我得开会，六点半回不来。

(中文和訳：(私は) 会議に出なければならないから、6時半に戻ってこられません。)

[C] StudentA 这本书我考试要用，你今天看得完吗？

(中文和訳：この本は私はテストに必要ですから、(あなたは) 今日読み終わられますか。)

StudentB 这本书我今天看不完，你先用吧。我以后再看。

(中文和訳：この本は (私は) 今日読み終わられないので、(あなたは) 先に使ってください。)

ださい。(私は)その後でまた読みます。)

㉔ 那个字怎么写, 我想不起来了。

(中文和訳: あの手はどうやって書きますか、(私は)思い出せなくなりました。)

㉕ 健康保険太贵, 我买不起。

(中文和訳: 健康保険は高すぎて、(私は)買えません。)

㉖ 今天的功课不多, 我很快就能做完。

(中文和訳: 今日の宿題は多くないので、(私は)すぐにやり終えることができます。)

㉗ 这个中国电影的中文不难, 我能看懂。

(中文和訳: この中国映画の中国語は難しくないので、(私は)見て理解することができます。)

㉘ a. 这条中文短信你看得懂吗?

(中文和訳: この中国語のショートメールは、(あなたは)見て理解することができますか。)

A. 我看得懂。

(中文和訳: (私は)見て理解することができます。)

㉙ a. 二十个饺子你吃得完吃不完?

(中文和訳: 20個の餃子は、(あなたは)食べ切ることができますか。)

A. 我吃得完。

(中文和訳: (私は)食べ切ることができます。)

Potential complements are an important feature of Chinese. They are often the only way to convey the idea that the absence of certain conditions prevents a result from being achieved. Potential complements have a unique function that cannot be fulfilled by the “不能 (bù néng)” + verb + resultative/directional complements in negative sentences. If we used the “不能 (bù néng) + verb + resultative/directional complements” construction, the sentence would be incorrect.

[×老师说得太快, 我不能听清楚。]

(英文和訳: 中国語可能補語の重要な特徴は通常、ある一定の条件が備われば、ある結果が実現できる意味を表す唯一の言語手段である。可能補語のユニークな振る舞いとして、否定文において“不能 (bù néng) + 動詞 + 結果 / 方向補語”は完全にカバーできず、ときには可能補語を使わなければならないことが挙げられる。“不能 (bù néng) + 動詞 + 結果 / 方向補語”構造を使用すると、センテンスは正しくなくなってしまう。

㉚ 门太小, 我进不去。

(中文和訳: 門が小さすぎて、(私は)入っていきません。)

㉛ 里面正在开会, 你不能进去。

(中文和訳: 中は会議を開いているので、(あなたは)入ってはいけません。)

A potential complement cannot be used in a 把 (bǎ) sentence, either.

(英文和訳：また、可能補語は把 (bǎ) センテンスに使うことができない。)

[×我把今天的功课做不完。]

上記記述の他に、レッスン中のシチュエーションがある本文や、練習問題にその使用例が取り込まれ、また該当文法項目記述以降のレッスンにおいても、たびたびレッスン本文や練習問題などの使用例が見受けられる。さらに、『IC3』『IC4』においても、可能表現における「助動詞可能形式」と「補語可能形式」の使用例が多く見受けられるため、導入後も十分にフォローアップして学習者に当該文法をしっかりと身に付けて応用できるよう配慮されていると言える。

5 日本と英語圏教科書の比較

5.1 日本とアメリカ教科書の比較

第2節での日本教科書の記述と第3節でのアメリカ教科書の記述を比較すると、相違点は下記の通りである。

- (1) アメリカ教科書『NPCR』では、文法項目を解説した後、すべて表形式（前掲表①②③を参照）を用いて例文が提示され、主語、述語、目的語、その下位項目の助動詞、動詞などと文構成成分がセルで区切られて記したため、学習者にとって中国語構文の仕組みが一目瞭然である。
- (2) 教科書『CC』では、「補語可能形式」としての可能補語について、疑問形のパターンが解説の中で提示され、また、許可あるいは同意を表す場合は、可能補語を使用するのではなく、能または可以を使用すべきだとした説明などを見ると、細かいところまできちんと説明して学習者の習得への配慮がなされていると言えよう。
- (3) 2冊の教科書のいずれも、文法ポイントの解説内容については、「助動詞可能形式」も「補語可能形式」も日本の教科書との相違点はなかったものの、否定形はどういったカタチになるかはしっかりと説明されている。

5.2 日本とニュージーランド教科書の比較

第2節での日本教科書の記述と第4節でのニュージーランド教科書の記述を比較すると、相違点は下記の通りである。

- (1) 日本の教科書にも、アメリカの教科書にも見られなかったが、可能補語として提示された例文に会話形式のものがあつた（例 A、B、C、H、I）。また、例文に“能看懂”と“看得懂”が同時に提示されている。“能看懂”は「助動詞“能”+動詞+結果補語」で構成され、「可能」の意味を表すが、この形式は「助動詞可能形式」と、特に「補語可能形式」との区別がつきにくいいため、その存在は中国語学の研究者たちに注目されており、そして習得が難しいと言

われている。それをあえて提示し、シチュエーションからそのニュアンスの違いを学習者に感じ取ってもらう狙いがあるように思う。

- (2) 日本語の可能補語に関する記述との違いがかなり見られた。特に日本教科書はアメリカ教科書と同様の記述として可能補語は「可能」を表すにとどまっているが、ニュージーランドの教科書『IC2』では、「中国語可能補語の重要な特徴は通常、ある一定の条件が備われば、ある結果が実現できる意味を表す唯一の言語手段である。」と一歩踏み込んだ記述がなされている。
- (3) 日本とアメリカの教科書には見られなかったが、学習者が間違いやすい非文（文法として正しくない例文）も提示され、たとえば可能補語については、“把”構文の中では使用できないと記述されている。

6 終わりに

第二言語習得理論に基づくと、言語習得の教学指導の基本的な目標は、学習者のコミュニケーション能力を育成することにある（和泉伸一著 2016、小柳かおる・峯布由紀 2016 等）、第二言語としての中国語教育も例外ではない（李珠・姜丽萍著 2008、刘珣著 2005、赵金铭总主编 2010 等）。従って、文法項目の教学指導もそれに沿って進められなければならないように考える。

今回は、英語圏のアメリカ及びニュージーランドから収集した中国語教科書と、日本で刊行されている中国語教科書と、中国語可能表現に関する記述事項（主に文法項目としての解説と、提示された例文）を比較して考察し、その相違点を明らかにした。また、その相違点の中から、①使用場面をより具体化するため、例文に会話形式を導入すること、②学習者に一目瞭然に文構成成分を分かってもらうために表を用いて例文を提示すること、③疑問形のパターンや否定形も解説のなかで記述すること、④「助動詞可能形式」と区別するため、「補語可能形式」としての可能補語をより一歩踏み込んだ説明をすること、⑤学習者が間違いやすい非文も例示することなど、参考になる点が多々あり、今後日本で使用される中国語教科書の作成に応用できると考える。

同時に、約1ヵ月の短い期間で、アメリカから67冊もの中国語教科書を入手できたことから、英語圏における中国語教育は、特にアメリカでは盛んに行われていると推測することができる。その勢いは留まることを知らず、さらに裾野を広げて日本にも波及することを期待したい。

注：

- (1) 本論文の研究成果は「跡見学園女子大学令和3年度特別研究助成」によるものである。
- (2) 日本語の教科書から引用された例文はすべて別冊の教授用資料から転載したものである。
- (3) アメリカ及びニュージーランドの教科書から引用した英語に付した「英文和訳」と中国語例文に付した「中文和訳」は、すべて筆者が訳したものである。

参考教科書

- 董燕／遠藤光暁 『話す中国語 初級～中級篇』 朝日出版社
董燕／遠藤光暁 『ともだち・朋友 スリム版1』 朝日出版社
宮本大輔／温琳 『中国語会話のコツ』 KINSEIDO
奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 『初級中国語 会話編』 KINSEIDO
吴中伟主编 『Contemporary Chinese 当代中文 修订版』 华语教学出版社
刘珣主编 『NEW PRACTICAL CHINESE READER 3rd Edition 新实用汉语课本 第3版』 北京语言大学出版社
Yuehua Liu and Tao-chung Yao Nyan-Ping Bi,Liangyan Ge,Yaohua Shi 『INTEGRATED CHINESE 中文听说读写・中文聽說讀寫1』 Cheng & Tsui Company, Inc.
Yuehua Liu and Tao-chung Yao Nyan-Ping Bi,Liangyan Ge,Yaohua Shi 『INTEGRATED CHINESE 中文听说读写・中文聽說讀寫2』 Cheng & Tsui Company, Inc.
Yuehua Liu and Tao-chung Yao Nyan-Ping Bi,Liangyan Ge,Yaohua Shi 『INTEGRATED CHINESE 中文听说读写・中文聽說讀寫3』 Cheng & Tsui Company, Inc.
Yuehua Liu and Tao-chung Yao Nyan-Ping Bi,Liangyan Ge,Yaohua Shi 『INTEGRATED CHINESE 中文听说读写・中文聽說讀寫4』 Cheng & Tsui Company, Inc.

参考文献

〈日本語文献〉

- 和泉伸一著 2016 『第2言語習得と母語習得から「言葉の学び」を考える』 アルク
郭春貴著 2001 『誤用から学ぶ中国語』 白帝社
小柳かおる・峯布由紀 2016 『認知的アプローチから見た第二言語習得』 くろしお出版
安本真弓 2019-1 「中国語可能表現のメカニズム—“能”と“会”構文を中心に—」『跡見学園女子大学文学部紀要』第54号 pp.95-109
安本真弓・吉田泰謙 2019-2 「中国語可能表現に関する指導法試案と実践検証」『御殿山語用論研究論集』第5号 pp.21-40
安本真弓・吉田泰謙 2020-1 「可能助動詞“会”“能”“可以”に関する『理解可能なインプット』作成の試み—教員アンケート結果を踏まえて—」『跡見学園女子大学文学部紀要』第55号 pp.145-161
安本真弓・吉田泰謙 2020-2 「日本の大学における中国語可能補語教室指導の一考察」『御殿山語用論研究論集』第6号 pp.1-20
吉田泰謙・安本真弓 2018 「中国語可能表現の習得状況に関する考察—大学における調査結果を中心に—」『研究論集』第108号 pp.151-168

〈中国語文献〉

- 郭晓麟编著 2010 《图解汉语语法难点学习手册》 北京大学出版社

- 李大忠著 1996 《外国人学汉语语法偏误分析》 北京语言大学出版社
- 李珠·姜丽萍著 2008 《怎样教外国人汉语》 北京语言大学出版社
- 刘珣著 2005 《对外汉语教育学科初探》 北京大学出版社
- 杨庆惠主编 1996 《对外汉语教学中的语法难点剖析》 北京师范大学出版社
- 叶盼云·吴中伟编著 1999 《外国人学汉语难点释疑》 北京语言大学出版社
- 赵金铭总主编 2010 《汉语作为第二语言要素教学》 北京大学出版社
- 安本真弓·吉田泰謙 2022 〈汉语可能表达式的‘可理解输入’—以日本大学课堂讲解为例〉《汉语国际教育学报》第十二辑 北京语言大学汉语国际教育学部